

JT跡地活用に関する報告書

平成17年11月

JT跡地活用対策委員会

2. JT跡地活用対策委員会の報告書

第1回目の委員会では、ブレインストーミング(注)方式がとられ、各委員より様々な意見が出されました。続いて第2回目の委員会では、実際に駅を利用している匝瑳高校や敬愛高校の生徒から出された様々な意見が紹介され、さらに商業部会商業対策委員会からの意見書が報告されました。又第3回目の委員会においては、商業協同組合や商工会青年部、サービス券会、商工会女性部から意見書や積極的な意見等が出されました。

その中で委員会の当初は、JT跡地の活用について合併特例債の活用を含みながら、飲食や地場産品を取扱う施設やフリーマーケット(八日市の復活)やオープンカフェ等が可能な多目的広場、駐車場や駐輪場等の施設といった意見が多くみられましたが、後半には1,200坪という土地の活用だけでなく、将来の新市の中で取組むべき商業の活性化や観光問題、高齢者問題、子育て支援等の問題にも話が広がり、駅を含めた周辺の将来の方向性を、今後真剣に話合っていく事が必要ではないかとの意見も出されました。その意味で、市がJT跡地の1,200坪を確保した事は大変意義のあるものと考えられます。

今、八日市場の商業は、市内や近隣の大形店に押され、厳しい状況に追い込まれております。その様な環境の中で新市になった場合、駅は新市全体の顔となり、JT跡地を含めた駅周辺の開発は、新市の商業の再活性化につながり、新たな賑わいの創出にもつながっていくものと考えられます。駅を含めた周辺の商業の活性化は、必要不可欠の課題であり将来の新市の羅針盤となり得るものではないでしょうか。

そのためにも今後は、JT跡地を含めた駅周辺の開発に向け、様々な議論を展開していく事が必要になってくると思われまます。

JT跡地の活用については、是非取組んでいかなければならない課題ではありますが、まだまだ検討すべき点も多くあり、今この時期に結論を出すのではなく、今後の議論の中で新たな活用方法を検討していくべきではないでしょうか。

ただJT跡地の1,200坪をそれまでの間そのまま放置しておく事は、周辺住民の方々にとっても好ましくないと思われるので、当面の活用方法として、駅を利用する人達のために一日貸しや時間貸しの駐車場として活用する案とイベントやフリーマーケット(八日市の復活)等が行える多目的広場として活用する案が出ております。又その運営等に関しては、プレハブの事務所等を設けて商業関係団体やシルバー人材の方々も活用しながら、駅周辺の清掃や観光パンフレットの配布等も行ったかどうか等の意見もでております。

当委員会としては、最終的には将来の新市の発展とJT跡地を含めた駅周辺の開発は必要であるとの認識が多く、今後多くの関係者による議論が求められていくものと考えられます。ただ、当面の活用方法としては上記の案が今の段階では最善の案ではないかということで承認しましたので報告させていただきます。

(注)ブレインストーミング・・・各自が他を批判することなく、自由に意見を出しあって、独創的なアイデアを引き出す集団思考法。(大辞林)

